

トラック3 「たすけてください、おねえさま」

「ひいつ」

「はー……っ、はー……ッ！」

（大丈夫、布団にこもってたら大丈夫、だいじょうぶだいじょうぶ誰も来ない大丈夫何も聞こえない大丈夫何ともないし大丈夫大丈夫大丈夫）

「ッ！」

（だれか、だれか来っ、だれ、だれ、だ）

「ひっ、ひ、おね、さま」

「お義姉様あ！」

「おねえさま、おねえさまおねえさま」

（あったかい、だれかのたいおん、はじめて。あったかい）

（ひとりじゃない）

「ごめんなさい、ごめんなさいっ」

「こんなの駄目だって言われると分かっています。でも、でも」

「ぼく……っ」

「ん、んんう」

「んむ」

「あっ、あう、あ……」

「おねーさま」

「おねえさま」

（ぼくの、おねーさま）

「こ、わかったです」

「こわくて」

「雷が、雷も、ぜんぶ」

「頑張ろうと思って、でも体駄目で、ガタガタして」

「こわくて……っ」

「あ、んむっ、んんう」

「おねーさま」

「あう」

「手……、あったかい」

(ぎゅ、……ぬくぬく……)

「あ、あは……。お義姉様にぎゅってしてもらえて、へへ……。安心、しちゃって」
「震え、止まったかも、です」

「ン、んん」

「あり、がとうございます」

「あの、その、えと……」

「ひいっ!？」

「あ、あ、あ……」

「へあ……?？」

「いっしょ?？」

「ずっと?？」

「一緒に……?？」

(ずっとずっとずっと……?)

「あ、あうっ」

「あ……」

「あ、あう、あ、……は」

「だい、だいじょうぶ。だいじょうぶ、です」
「ぎゅって、されてるから」

「え、えへ」

「は」

「へへ」

「雷は、苦手、です」

「あらしも、ちよっと」

「昔から駄目で」

「あ、あは、あはは」

「僕、孤児院に捨てられてた日が嵐の日だったみたいで、あは」

「雷が、凄かったらしくて」

「それで、はは、その、ちよつとあはは」

「こういうひ、だめなんです」

「いきも、むずかしくて」

「どうしようも、なくって」

「でも、へへ、はは」

「だれかと、いっしょなんて、はじめてだから」
「だから」

「ちよつと、こわくないです」

「は、あえ？」

「あ、ちよ、んんっ！」

(お、おふ、おふ、おふと、おふ、つ、つれこまれちゃった!?)

(あ、あう)

(あう)

「あ、んう」

「おねーさま」

「はう、う」

(ちかい)

(ちかくて、)

「お義姉様、良い匂い」

「あまくて、なんだか、おちつきます」

「ん、ん……」

「えへ」

「はい」

Warm bath

白井沫

「はい」

「ありがとうございます、お義姉様」
「すんっ」